



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月14日

上場会社名 関東電化工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4047 URL <http://www.kantodenka.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山下 史朗

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員人事総務部長 (氏名) 浦本 邦彦

TEL 03-3216-4561

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	26,582	△11.4	439	△85.2	342	△87.2	△92	—
23年3月期第3四半期	30,014	9.6	2,971	261.4	2,675	320.3	1,320	461.8

(注)包括利益 24年3月期第3四半期 △477百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 1,095百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△1.61	—
23年3月期第3四半期	22.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	53,830	18,735	33.4
23年3月期	53,799	19,567	35.0

(参考)自己資本 24年3月期第3四半期 17,966百万円 23年3月期 18,829百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
24年3月期	—	3.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	△13.2	100	△97.5	0	—	△900	—	△15.64

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】3ページ「2.サマリー情報(その他)に関する情報」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	57,546,050 株	23年3月期	57,546,050 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	16,893 株	23年3月期	16,371 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	57,529,377 株	23年3月期3Q	57,530,853 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
(4) 追加情報.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(四半期連結損益計算書).....	6
(四半期連結包括利益計算書).....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(4) セグメント情報等.....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により影響を受けたサプライチェーンの復旧とともに企業の生産活動に持ち直しの動きが見られたものの、歴史的な円高やデフレの継続、欧州の政府債務危機による世界的な景気減速懸念等、先行き不透明な状況のまま推移いたしました。

このようななか、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、基礎化学品事業部門が、販売数量の減少や一部製品の撤退等により減収となったことに加え、精密化学品事業部門が、販売数量の減少と販売価格の低下により減収となったため、265億82百万円と前年同期に比べ34億31百万円、11.4%の減少となりました。損益につきましては、経常利益3億42百万円と前年同期に比べ23億33百万円、87.2%の減少となりました。最終損益は、四半期純損失92百万円となりました（前年同期は、四半期純利益13億20百万円）。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

①基礎化学品事業部門

か性ソーダは、販売価格の低下により、前年同期に比べ減収となりました。塩酸は、販売数量の減少により、前年同期に比べ減収となりました。

塩素系有機製品につきましては、トリクロールエチレンは、価格修正効果はあったものの販売数量の減少により、前年同期に比べ減収となりました。パークロールエチレンは、販売数量は減少したものの価格修正効果により、前年同期に比べ増収となりました。その他有機製品につきましては、シクロヘキサンは、販売終了による販売数量の減少により、シクロヘキサノンは、販売数量の減少により、前年同期に比べ減収となりました。

以上の結果、基礎化学品事業部門の売上高は、52億52百万円となり、前年同期に比べ6億19百万円、10.5%の減少となりました。営業損益につきましては、営業利益1億93百万円となり、前年同期に比べ2億90百万円、60.0%の減少となりました。

②精密化学品事業部門

半導体・液晶用特殊ガス類につきましては、三フッ化窒素は、需要の減少に伴い、前年同期に比べ減収となりました。六フッ化タングステンは、販売数量が増加したものの販売価格が低下し、前年同期に比べ減収となりました。四フッ化炭素は、価格修正効果により、前年同期に比べ増収となりました。

電池材料の六フッ化リン酸リチウムおよび電池の添加剤のフルオロエチレンカーボネートは、販売数量が増加したものの販売価格が低下し、前年同期に比べ減収となりました。

以上の結果、精密化学品事業部門の売上高は、164億37百万円となり、前年同期に比べ28億92百万円、15.0%の減少となりました。営業損益につきましては、営業損失2億58百万円となりました（前年同期は営業利益21億63百万円）。

③鉄系事業部門

複写機・プリンターの現像剤用であるキャリアーは、前年同期並となりました。鉄酸化物は、着色剤の販売数量の増加により、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果、鉄系事業部門の売上高は、19億58百万円となり、前年同期に比べ6百万円、0.3%の増加となりました。営業損益につきましては、営業利益2億35百万円となり、前年同期並となりました。

④商事事業部門

商事事業につきましては、化学工業薬品の販売減少により、前年同期に比べ減収となりました。

以上の結果、商事事業部門の売上高は、14億46百万円となり、前年同期に比べ1億18百万円、7.6%の減少となりました。営業損益につきましては、営業利益1億44百万円となり、前年同期に比べ1億15百万円、391.4%の増加となりました。

⑤設備事業部門

化学設備プラントおよび一般産業用プラント建設の売上高は、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果、設備事業部門の売上高は、14億87百万円となり、前年同期に比べ1億91百万円、14.7%の増収となりました。営業損益につきましては、営業利益1億16百万円となり、

前年同期に比べ1億03百万円、786.1%の増加となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産は、有価証券が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ30百万円増加し、538億30百万円となりました。負債は、借入金の増加などから8億62百万円増加し、350億95百万円となりました。純資産は、利益剰余金が減少したことなどから8億31百万円減少し、187億35百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末の35.0%から33.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成23年11月14日付にて公表しました業績予想を修正しております。詳しくは、別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（その他）に関する情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日）を適用しております。

法人税率の変更

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることになりました。この税率変更により、繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）は150百万円減少し、法人税等は148百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,633	6,655
受取手形及び売掛金	11,029	9,658
有価証券	—	1,499
商品及び製品	1,805	2,214
仕掛品	2,208	2,775
原材料及び貯蔵品	1,301	1,784
その他	887	1,234
貸倒引当金	△15	△14
流動資産合計	25,850	25,808
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,980	6,925
機械装置及び運搬具(純額)	7,564	7,022
その他(純額)	6,530	7,710
有形固定資産合計	21,076	21,659
無形固定資産	367	286
投資その他の資産		
投資有価証券	4,562	3,998
その他	1,956	2,093
貸倒引当金	△12	△15
投資その他の資産合計	6,506	6,077
固定資産合計	27,949	28,022
資産合計	53,799	53,830

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,424	6,293
短期借入金	6,935	6,942
1年内返済予定の長期借入金	5,260	4,826
未払法人税等	1,120	90
その他	3,297	3,288
流動負債合計	22,037	21,441
固定負債		
長期借入金	9,278	10,985
退職給付引当金	2,008	1,958
役員退職慰労引当金	92	93
環境対策引当金	21	19
その他	793	595
固定負債合計	12,194	13,653
負債合計	34,232	35,095
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,877	2,877
資本剰余金	1,614	1,614
利益剰余金	14,411	13,973
自己株式	△8	△8
株主資本合計	18,895	18,457
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	431	144
為替換算調整勘定	△497	△635
その他の包括利益累計額合計	△66	△491
少数株主持分	737	769
純資産合計	19,567	18,735
負債純資産合計	53,799	53,830

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	30,014	26,582
売上原価	22,264	21,440
売上総利益	7,750	5,142
販売費及び一般管理費	4,779	4,702
営業利益	2,971	439
営業外収益		
受取利息	7	5
受取配当金	94	104
その他	179	142
営業外収益合計	280	252
営業外費用		
支払利息	320	241
為替差損	198	64
その他	57	44
営業外費用合計	576	350
経常利益	2,675	342
特別利益		
固定資産受贈益	—	64
特別利益合計	—	64
特別損失		
固定資産除却損	67	140
投資有価証券評価損	114	69
環境対策引当金繰入額	22	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	89	—
特別損失合計	294	210
税金等調整前四半期純利益	2,380	196
法人税等	1,028	219
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	1,352	△22
少数株主利益	31	69
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,320	△92

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	1,352	△22
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△152	△304
為替換算調整勘定	△104	△150
その他の包括利益合計	△256	△454
四半期包括利益	1,095	△477
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,070	△517
少数株主に係る四半期包括利益	25	40

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	基礎化学品 事業 (百万円)	精密化学品 事業 (百万円)	鉄系事業 (百万円)	商事事業 (百万円)	設備事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	5,871	19,329	1,951	1,565	1,296	30,014	—	30,014
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	720	209	58	3,038	957	4,984	△4,984	—
計	6,592	19,538	2,010	4,603	2,253	34,998	△4,984	30,014
セグメント利益	483	2,163	235	29	13	2,924	46	2,971

(注) 1. セグメント利益の調整額46百万円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	基礎化学品 事業 (百万円)	精密化学品 事業 (百万円)	鉄系事業 (百万円)	商事事業 (百万円)	設備事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	5,252	16,437	1,958	1,446	1,487	26,582	—	26,582
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	708	198	43	3,241	1,465	5,657	△5,657	—
計	5,961	16,635	2,001	4,688	2,952	32,240	△5,657	26,582
セグメント利益又 は損失(△)	193	△258	235	144	116	432	7	439

(注) 1. セグメント利益の調整額7百万円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。